



大井第一小学校

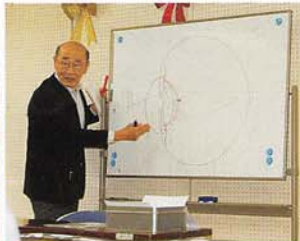
同窓会 会報19号

発行責任者 大野 正恒

平成29年 4月



田辺栄嗣氏のミニ講演会



第8回同窓生の集いの様子



平成10年代の「タンポポの畑」と「大一の森」



平成28年の「大一の森」と「学級園」



平成28年10月16日(日)の11時～15時、大井第一小学校1階多目的室で「同窓生の集い」を開催しました。当日は晴天にも恵まれ、鹿嶋神社大祭の賑やかさの中、約80名の方が来場されました。

「同窓生の集い」は、気軽に母校へ立ち寄りできる機会を増やし同窓生同士の親睦をはかることを目的に発足し、今回で8回目を数えます。当日の参加者は、昭和10年卒から平成4年卒まで幅広く、世代を超えて活発に交流されていました。

今回は、140周年記念同窓会開催時の写真、母校や大井町の昔の写真、各年代の卒業写真、文集等を展示しました。来場者からは、「懐かしい写真ありがとうございます。」の言葉をたくさん頂き、写真を見ながら同窓生同士が「昔の町の通り・お店・遊び・神輿・バス・建物」等で話が弾んでおられたのが印象的でした。特に昭和10年卒の方は静岡からお一人でおみえになり、「今回が最後だったので来年も来ます。」と言って頂



同窓会会長
大野 正恒

第8回同窓生の集い開催報告

けて、「同窓生の集い」の目的が叶えられたと思っています。

午後には、卒業生で眼科医の田辺栄嗣氏による「中高年からの目の健康管理」のミニ講演会を行い、近隣の方々も参加されて質疑応答もあり大変盛況でした。

当会は毎年、原則、10月の第3日曜日(鹿嶋神社祭礼の日)を恒例として開催しています。祭を楽しみながら皆さんの「クラス会・同期会」を開催してはいかがでしょうか。会場で待ち合わせをして、母校の校庭を散策し、昔の写真を眺めてからお食事(飲み会)のコースです。

今年も新しい企画を考え、皆様をお待ちしていますので、是非、お誘い合わせてお立ち寄りください。

第9回同窓生の集い

鹿嶋神社祭礼の日

懐かしい「大井第一小学校」に集まろう
会合・集合場所としてもご利用ください。

日時：平成29年10月15日(日)

11時～15時

会場：大井第一小学校 1階 多目的室

大一の森について

大井第一小学校校長 平成8～13年

児玉 潔夫

1. 環境教育の実践

大井第一小学校正門を入った右手に、木々に囲まれた細い道があり、「大一の森」と言われています。この一角は、狭いながらも四季の自然環境の変化を感じられる貴重な場所として、児童や保護者の方々に愛されています。

さて、自然環境と云えば、大井第一小の環境に関する教育の歴史は長く、既に昭和57年度に品川区研究校として発表しています。それ以来、環境に配慮した教育を続けて来ましたが、平成9～11年度にかけて、東京都と品川区の環境教育の研究校として、「自然と共存・子どもの心の育成を図るために、そして、自然にふれ自然を大切にする気持ちを育てるため」の教育に取り組んできました。



大一の森入口

(1) 児童の主体的学習を大切にし、「横断的・総合的な学習」を取り入れる。

(2) 体験的な学習、調べ学習を充実させる。

(3) 調べ学習には、図書資料・インターネットの活用を図る。

(4) 古紙・空き缶・牛乳パック回収活動にPTAと協力して取り組む。そして、その成果を平成11年11月2日に公開授業をすると共に成果の発表をしました。

因みに、この研究に合わせて、大井第一小学校のホームページを、平成9年7月11日に初めて公開しました。これは、品川区立小中学校で初めてのものでした。

2. 本校の特色ある学びの場

大井第一小学校には、子ども達の学習の場として様々な工夫がされ今日に続いています。その中で、環境教育に関係しているものとして、次のものがあります。(現象は当時のものです)

(1) 【うさぎランド】ウサギは、縦横に穴を掘って暮らしていました。

(2) 【ひょうたん池】ヤゴやカワナやコイがいました。春には、ヒキガエルが卵を産みに来ました。

(3) 【大一の森】蛇が棲むと言われています。雨が降ると、ヒルが出てきました。小さい池がありました。実際に蛇が目撃されていました。

(4) 【自然探索の庭】自然理解や自然と仲良くなる場を工夫してありました。

(5) 【たんぼ】校庭の一角を掘り起こして稲を育てていました。

(6) 【リサイクルコーナー】空き缶や牛乳パック等の回収を行っていました。

3. 「大一の森」と「ビオトープ」と「タンポポの畑」

環境教育の基本の大きな柱は、自然との調和です。身近の自然を愛でて守ること、それは、子どもの感性を育て、豊かな心を育むことにつながります。そのために、学校環境を更に向上させようとの思いで、子どもたちと先生たちが協力して取り組んだのが、「大一の森」・「ビオトープ」・「タンポポの畑」等でした。

(1) 「大一の森」の整美

「大一の森」には、草木の他に、巣箱や小さい池などがありました。子どもたちが自由に散策したり、自然観察できるようにしたいとの願いで、少し手を加えました。



巣箱

① 散策路にレンガを敷き詰め歩きやすくしました。レンガは、東京都のゴミ処理で出る灰を固めて作ったものを頂きました。

i) 道がぬかるんでいても靴を汚さないこと、
ii) 隙間を残すことで雨水を地中に

流すことができるとともに、虫などがレンガ道の左右を行き来できること。

iii) 更に、このことによって、レンガの隙間や下に小さい虫などのすみかを確保すること、これは、次に紹介する「ビオトープ」の考え方と同じです。



メダカの池のクロメダカ

② 入口からすぐ左に小さい池があり、当時、水は入っていましたが、水生動物の棲む環境にはなっていま

そこで、泥をさらって水を入れ替え、クロメダカを入れました。そして、水を澄ますため、水生植物も入れました。春になるとヒキガエルがどこからともなくやってきて卵を産み付けていました。

(2) 「ビオトープ」の作成

「ビオトープ」とは、一言でいえば「生物の生息空間」と言えるでしょう。このビオトープの発想で、当時の6年生を中心に学校の自然環境の改造を行いました。これは、環境教育の一環でもありましたが、学校の緑の空間に色々な工夫を加え、植物や小動物が生息しやすい場所を創るといったものでした。子どもや教師たち



その他、保護者や地域の方々のご協力もいただき、学級園を改造し数年後に写真のような立派なものが完成しました。



完成したビオトープ

(3) 「タンポポの畑」

学校の裏手(大一の森の反対側)は、特徴のある場所ではありませんでした。そこにも何か作りたいとの願いで、検討した結果、タンポポの畑をすることにしました。

畑の周りには、近隣の方が寄付して下さったコンクリート支柱を埋めました。タンポポは、学校周辺から採集した、「カントウトタンポポ」、「カンサイタンポポ」、「シロバナタンポポ」、「セイヨウタンポポ」を植えました。タンポポの違いを観察する意味もありました。

4. 終わりに

以上、環境教育の一環として、校内の環境改善に取り組んだ経過を述べましたが、その過程でいろいろな現象が見られましたので付記しておきます。

- (1) 秋のある日、ヤモリ(トカゲ系爬虫類)を発見しました。ヤモリは、家に巣くう害虫などを食べて家を守るので「家守」とも言われていますが、それは、俗説です。昆虫・害虫などは食べませんが、正式には、「守宮」と書きます。
- (2) 同じ頃、アオダイショウが樹の洞にいたのが発見されました。まだ「幼蛇」でした。ということは、親蛇も2匹はいるということですが、春に放したクロメダカに2世が、誕生していました。水草に卵を産んでいたので水槽に移し、大切に育てて池に還しました。10数匹いました。
- (4) 既存の「ひょうたん池」に加えて、「ビオトープ」や「メダカ池」など、水辺が増えたおかげでしょうか、いろいろなトンボが来ました。生け垣で、セミの羽化も見られました。
- (5) 本校にはPTAや地域の方による、長年にわたる素晴らしい実践があります。それは、「菊の栽培」です。この様な学校は大井第一小学校だけではないでしょうか。
- (6) この様な環境は、時代の推移による変化はあるとしても、いつまでも残しておきたいものですね。

鼓笛隊の思い出

旧教職員 昭和32〜44年 北川 菅雄

① 鼓笛隊創設

昭和35年6月の日曜日。全校参観日に行われた3年雪組の学級懇談会の席で、先週、新宿区立牛込仲之小学校の研究発表会に参加した折、5〜6年生の「歓迎セレモニー」で見事な「鼓笛隊パレード」を見て、その子どもたちの素晴らしい演技に、しばし見とれる程強烈な衝撃を受けたことを報告しました。牛込仲之小学校の音楽専科杉山先生ご指導のもとで行われた「木曾節」

この3枚の写真は現在の「大一の森」です。道は歩き易いように舗装されて、学級園で栽培された「品川蕪」は品評会で2年連続優勝しました。(編集委員)

のリズムに接して以来、本校でも、何とか鼓笛隊を編成したいと思い、当時の音楽専科の佐治先生に相談したところ、「本校では教材費の予算が無く、道具が買えないからダメ。」と云うことでした。

その話を学級懇談会で話したところ、ご参加の多くのお父さん方からご賛同を頂き、同席されていたPTA会長の佐藤五郎会長さんと当時の教務主任だった武井春雄先生が音頭をとって下さり、「たばこ銭の一部でもご寄附お願いします。」とかぶつていた帽子を持って寄付を集めて回りました。「少ないですが、これを太鼓購入の足しにして下さい。」と頂いた金額は、何と中太鼓2個と小太鼓5個も買える金額でした。その協力的な親御さん達に何度もお礼を述べて学級懇談会は終わりました。

ところでそのあとが大変で、大きなことを言ったけど、果たして子どもたちへの指導はどのように順序立ててやったらいいのか、足りない楽器をどのようにして手に入れるのか? 頭痛の種の毎日でした。まず、区内の学校で鼓笛隊を編成している学校を調べることから始めました。佐治先生が「源氏前小学校で編成し始めたそうだよ。」と教えて下さいましたので早速電話をして「是非ご指導下さい。」とお願ひしたところ「一緒に研究していきましょう。」と云うことではとしました。以来1964年の東京オリンピッククマまでのお付き合いになりました。

②楽器の購入や不足分はどうしたか？
音楽専科の佐治先生が、教具の楽器を銀座十字屋から購入して居られましたので、セールス担当の井沢さんに予算内で買える太鼓類を持ってきてもらいました。指揮杖は三ツ又商店街の藤井さんからご寄附頂いた老人用の杖を加工して、とりあえずこれを使うことにしました。

曲は教材の「富士山」で、メロディーはアウロス（縦笛）、リズムは太鼓で、ベーシククな「タタタン、タタタン、タタタン、タン」の繰り返しです。但し、3年生の児童には、歩きながらの演奏はかなり困難が伴いましたし、太鼓の希望者が多いので、くじ引きで決めました。練習は音楽の時間と放課後に講堂でやることにしました。

指揮法は土曜日に牛込仲之小学校の杉山先生のところへ押しかけて行き何とか習得して来ました。丁度その時、アメリカから日本に初上陸したバントワリングの公演をやっていましたので、珍しさと興味深さにひかれ習って来ました。まだバトンは市販されていませんでしたので、壊れたテレビのアンテナを利用してバトンを作りました。

何とか恰好ができてきた頃、学年の先生方から「北川先生のクラスはすごいことをやっているようだが、一度拝見したいものだ。」との声がかかりました。私も学年全体に広げたいと思っていた矢先のことだったので、6月下旬頃、学年の先生方



週間後、約東通りの品物が手元に来た時は仲山利一校長先生をはじめ、多くの先生方もびっくりでした。

に見ていただきご感想を伺いました。川崎先生、石渡先生、笹井先生、佐藤先生、若山先生だと記憶していただきます。先生方皆さんが好感を持たれたようで、「是非学年全体に広げて欲しい。」とのことでした。中でも笹井先生が一番興味を持たれたようで、「手伝わせてくれ。」と言われ、良き協力者と相談者を得たことです。幸運は続くもので、あの頃大手進学教室の一つ「東京標準テスト」の社長が私を訪ねてきました。ビックリ。社長の広川君は高校時代の友人でした。「日曜模擬テストに子どもたちに来て欲しい。」との要請を受けました。「その代り何か欲しいものは？」と聞かれ、すかさず鼓笛隊編成中の話をしたところ、「足りない楽器は寄付しましょう。」とのこと。「何とかという幸運なんだ。」と思いました。先ず、大太鼓1、リラゲロッケン2、指揮杖正副1本づつ、シンバル1、小太鼓6、中太鼓2、バントワリング10本等をお願いしました。一週間後、約東通りの品物が手元に来た時は仲山利一校長先生をはじめ、多くの先生方もびっくりでした。

③練習や曲の選定はどうしたか？
結局学年全員での合同練習は週に一回で、後にクラブ活動になるわけでした。日頃は希望者中心でやることにしました。バチさばきや楽器の演奏の仕方の指導は主に笹井先生が担当して下さり、私は、マスゲーム、パレードの仕方や曲作りを担当しました。目標は4年生になった時の運動会での披露目で、全校児童の心にアピールすることでした。
やがて、都内のあちこちの小学校で、鼓笛隊の編成を耳にするようになり、当方へも聞きに来る学校が増えて来ました。鼓笛隊の基礎の演奏楽譜など、ようやくヤマハ楽器で売りに出されましたがほんの数曲で、主にドラムマーチとやさしい民謡でした。それを片っ端から手に入れると共に、EP盤レコードの試聴盤も手に入れました。初代の指揮者は、子どもたちの推薦で檜前茂君に決まりました。子どもたちの憧れの的だったと思います。牛込仲之小学校からご指導いただいた指揮法を彼に仕込むのには苦勞せずスムーズにいきましました。彼は頭脳明晰でスポーツマンでしたし、自宅でも大分練習したようです。それにしてもさすがに大井第一小学校の児童は、総体的に理解が速く、演奏しながらマスゲームをつぎつぎにこなしていききました。（続きは退院してからと、させていたください。）
平成27年6月3日
北川先生はこの原文を病床でお書きになられました。しかし、残念な

がら、同年10月15日に永眠され、未完となつてしまいました。心よりご冥福をお祈りいたします。
(会報委員会)



レコード写真大「鼓笛」は昭和44年運動会のジャケット小学校第一ページ

平成28年度の教職員の異動

- I 退職 廣瀬めぐみ
- II 転出 大高 成友
- 主任教諭 (足立区立高根小学校へ)
- 教諭 畔上有希子
- 教諭 (品川区立三木小学校へ)
- 教諭 松原ゆかり
- 教諭 (武蔵野市立大野田小学校へ)
- 教諭 篠原 稜佑
- (江東区立東雲小学校へ)

平成28年度の児童の活躍

- 第60回全国学芸サイエンスコンクール 読書感想文部門 慶応義塾長賞
- 6年梅組 大淵 理真

本コンクールは旺文社が主催、小・中・高生を対象として、絵・書等様々な分野へ各自の得意分野で応募でき、大淵さんは右記部門にて受賞。

開校140周年記念特集 懐かしい先生方から3

会報委員会では、所在が判明している旧教職員の皆様に、大井第一小学校での☆在職中の思い出と★近況を伺いました。前々号から引き続き第三弾として掲載いたします。

旧教職員 平成23～27年

清水 愛子

☆理科で実験の為に大型パネルを子どもたちと運んだり、体育で皆で協力してハードルを並べたり。楽しい思い出です。

★足立区で担任として子どもたちと楽しい日々を過ごしています。

旧教職員 平成21～26年

長岡 美恵子

☆全員合唱の力強い歌声や、運動会での圧巻の表現運動など、行事がどれも大迫力でした。

★品川区内の小学校に勤務しています。今年度は6年生の担任のため連合行事等で大井第一小の子どもたちに会えるのが楽しみです。

旧教職員 昭和31～42年

西 昭子

☆私は地方（石川県金沢市）の出身でございます。大井第一で初めての担任は2年生でした。毎朝、

出席をとります。「〇〇君」「ハイ」「〇〇さん」「ハイ」と。私の読み方でアクセントやイントネーションがおかしいとみなさんが即座に直してくださいました。今思ってもありがたいことでした。

☆当時、全校生は一、三〇〇人ほどでした。朝会をはじめ、行動のしめくくりは校歌合唱でした。



瞬間を私は感じました。

★馬事公苑の近くのカトリック系の老人ホームに住んでおります。緑に囲まれたホームで、朝は鳥の声で目が覚めます。夫もなくなり、一人暮らしですが、寂しいとか退屈とか思ったことはございません。どうぞ遊びにいらしてください。

旧教職員 昭和52～61年

野々山 秋子

☆菊の花が咲くころになると思い出すのは大井第一の菊作り。「ふらつと会」の皆さんと児童とで育てた菊。校庭に飾って、「菊まつり給食」の菊のごはんは忘れられません。

★退職して30年があつという間に過ぎてしまいました。幸せなことに



今は健康ですので、趣味で、「和紙ちぎり絵」「コーラス」など楽しんでおります。旅行に出られる友人が少なくなり残念ですが、たまに教え子との交流を楽しみに過ごしております。

旧教職員 昭和56～63年

林 恵子

☆開校110周年を迎え、忙しさの中に喜びもあり、有意義な日々を送らせて頂きました。

★大井第一小↓品川小↓立会小↓伊藤小と計26年間小学校でお世話になりました。今は趣味の絵手紙や油絵などで、ゆっくりのんびり過ごしています。

旧教職員 平成15～21年

原 景子

☆私は、T.Tという仕事をしています。主に理科の仕事です。ピオトープでは、草花や昆虫を世話しました。春には、オタマジャクシを何百匹も飼いました。子どもた

ちみんな可愛がっていました。★平成28年3月31日で、1年早くこの仕事をやめました。脳梗塞になつて2年が経ちます。私は軽くすんだので頑張っています。みなさんも力を出していきましょ。

旧教職員 平成20～25年

福島 かおる

☆異動してすぐの頃、年配の男性が大一来られ、校庭の花を一輪取らせて欲しいとのこと。その男性の幼友達が亡くなり、大好きだった大1の花を手向けたいとのこと。

そのお話を聞いたとき、この大1の古くからの伝統を感じるとともに、そのような友情を育んできた男性たちに美しい気持ちを感じました。

★千代田区立富士見小学校で、2年生を担当しています。

旧教職員 平成18～23年

福島 美美子

☆嘱託勤務の時に3年生の社会科をもたせていただきました。子どもたちと地域探検をして、大きな地域マップを作りました。頑張った子どもたちのことは、忘れられません。

★我家のペット猫4匹、加えて地域猫の世話を、ボランティアでしています。ひまな時には、カフェで読書しています。

旧教職員 昭和21〜35年 松崎 滯子

☆私の42年間の教員生活の中で14年間も長い間勤務したのは大井第一小学校でした。従って思い出も沢山。毎日が子どもと共に「よく遊びよく学べ」の楽しい日々でした。卒業まで持ったのは昭和25年卒と35年卒の2回でしたが、特に思い出が深いようです。

★年齢ばかり重ねて友達や昔の同僚だった人々が去り、まわりがだんだん寂しくなってきました。今、幸せなことには、我が家の近くにかかりつけのお医者さまがいてくださることで、10日に一度はみていただいております。その他に、ヘルパーさんや何よりも心強いことは、昔の卒業生が何かにつけて集まってくれることです。(この葉書の思い出に書けませんでしたが、思い出や現在の事など、楽しくおしゃべり出来ることです)。
★趣味のピアノをつづけております。

旧教職員 平成14〜17年 松村 紀子

☆校庭の大きなシンボルツリー、そして桜の木、正門を入ると右手に広がる豊かな緑と学級園、白樺も数本ありました。都心の学校なのにこんな緑が驚きました。今も、あの豊かな環境が残っているかしらと、共に過ごした子どもたちの活動と共に懐かしく思い



れも少しばかりですが、気の向いた時、取り組んでいます。

旧教職員 平成4〜5年 松元 久子

☆高学年ばかりで林間・修学旅行でどちらも日光で、いたるところ見学して、案内できるくらい詳しいです。

★85歳の現在は、足痛がひどく、入院治療をしています。体の他は元気で、いろいろな社会で過ごした人達と、おしゃべりしたりで過ごしています。

旧教職員 昭和26〜29年 三樹 一雄

☆私は「大井第一小学校」のOBで在職中は、昼間「早稲田大学」に通学し、午後5時から翌朝8時まで週2日警備員を務めた。夜間2時間毎の巡回中を除き学習できなかったので有効に時間を活用できた。

☆「故・神崎三郎先生」と放課後、色々お話したり、夏休み中にプールで生徒の水泳指導のお手伝いをしたことなど思い出します。

★大学母校の「早稲田材料工学会・理事」を務め、時々、事務局に出ている。

★大井第一小学校で昭和30年まで教員をしていた「三樹久枝(旧姓・藤井)」と元校長・葛生先生ご夫妻のご媒酌で結婚して満60年、夫婦二人で生活し、大学生になった双子の孫を楽しみにしている。
★「きゅりあん」の開校140周年記念で「西昭子先生」と懐かしくお話をしました。大井第一小学校の発展をお祈りします。



旧教職員 平成6〜13年 三山 明子

☆もうすぐ21世紀という未来への希望いっぱい頃、社会科で「タイムスリップ!昔の大井第一小学

校」の劇を考えたり、開校120周年のお祝いをしたり、インターネットもつながっていないのにパソコンの研究発表をしたりしたことが懐かしいです。
★港区立御田小学校で4年生の担任をしています。

旧教職員 昭和45〜56年 森下 穂子

☆100周年祝歌―6年田口雅代さんの作品を合唱で、ダンスで祝った。



☆校歌の原譜が大金庫の中で見つかると、5番を入れて百周年を祝うことが出来た。
☆鼓笛パレード、阪急前まで堂々とやったね。
★今年8月で83歳。中目黒まで声楽のレッスンに。
★地元(横浜市緑区)ではボランティアで声楽のグループを指導。
★卓球。殆ど毎日2時間、中々上達しない。
★パソコンのゲームにはまって困ったもの。
★主人、脳梗塞で倒れ、現在、老人ホームへ日参するのも日課です。

旧教職員 昭和33〜44年

守田 瑠璃子

☆戦後の最も児童数が多い時代、星組までありました。

☆主として高学年担当だったので、毎日7時間、土曜日午後も補習授業と、よく児童も先生もがんばりました。

☆東京オリンピックの時、6年担任で聖火リレーや国立競技場での観戦など懐かしく思い出されます。

★現在90歳、今のところ健康で、毎日、老人ホームの友人を訪ねたり、四季折々の花を訪ね歩いたり、退屈する暇はありません。大井第一で鍛えられたお陰でしょうか。

★年一回の6梅クラス会は私の楽しみの一つです。わが愛する大井第一小学校の益々の発展を祈っています。

旧教職員 昭和53〜平成元年

柳村 公英

☆「子どもよし、保護者よし、地域よし」歴史と伝統のある素晴らしい学校でした。

★教師希望の学生の指導にあたっておられます。

旧教職員 平成10〜16年

山下 英子

☆6年生の鎌倉遠足が特に印象に残っています。従来通りの遠足ではなく、グループ毎に見学場所の計画を立て、チェックポイントを通過する以外は、全てグループ毎

に見学するようにしたのです。

不安はありましたが、きまりを守って、皆楽しく見学できたことがよい思い出になりました。

★退職して9年余、毎日忙しいながらも充実した日を過ごしています。ケーキやジャム作り、プリザーブドフラワー、そして陶芸などに楽しんでいきます。

旧教職員 平成16〜24年

吉沢 公子

☆図工専科として大井第一小には、8年間在職し、皆様にはたくさんのご協力をいただき、ありがとうございます。

☆思い出深い子どもたちの楽しいアイデアの光る展覧会では、一人一人の作品が心に残っています。

★区内の山中小学校に移り、4年がたち、図工の時間や展覧会では、多くの方のご協力をいただき、充実した時間を過ごさせていただきました。今年100周年にあたり、大井第一小で培ったことを生かしていきたいと思えます。皆様、ご健康で活躍されることを心から願っています。

旧教職員 平成17〜19年

米澤 知子

☆北海道の教員生活をやめて、すぐに大一にお世話になり、130周年をお祝いした記憶があります。松組、月組といった響きが懐かしいです。

★北区の小学校でお仕事しています。

★家に帰れば、3年生の男の子と年長の女の子のお母さんです。

旧教職員 昭和44〜57年

和田 京子

☆いろいろ充実した時期を過ごしました。昭和53年から55年までは、マニラ日本人学校へ派遣され、これも又、忘れられない思い出と経験をえています。

☆松竹梅月雪花、なつかしいですね。結局、梅組だけは担任しませんでした。残念！

★只今、リハビリ中。全くはずかしいことですが、歳はとりたくないし、いつまでも若いつもりはいけませんね。

★ノートブック(Mac)にとりつかれています。デザインやブログを試しております。

旧教職員 昭和53〜63年

渡辺 直子

★ころんで、腰を痛め、うんと年寄りになりました。生きてはいます。

3号に亘り掲載させていただきましたことこの企画も、今号で最終回となりました。

沢山の先生方にご協力を頂きましたこと御礼申し上げます。紙面の都合上、多少編集させて頂きましたことをご了承願います。

(編集委員)

***** クラス会・同期会支援 投稿して補助金をゲットしよう！

当補助金制度の仕組み

- ①クラス会・同期会報告投稿
- ・開催報告記事(400字以内)
- ・出席者の集合写真(数名以上)
- ・クラス又は同期の最新名簿
- ・幹事の卒業年・氏名・住所
- ②幹事へ補助金一万円送付
- 投稿の到着後現金書留にて送金
- ③回数と期限
- ・1クラス会又は1同期会につき1回/年
- ・平成29年4月〜平成30年3月20日まで投稿受付
- ④送付先
- メール又は電話で平林幹夫宛

★尚、投稿していただいた記事と写真とは同窓会会報又はホーム・ページに掲載いたします事をご了承下さい。

理 事 紹 介

新しく理事に1名加わりました。

理 事 白土 えり(昭和39年卒)

会計を担当させていただくことになりました。理事の皆様の母校と地域のこどもを大切に想うお気持ちに触れ、同窓会の意義をあらためて認識したように思います。どうぞよろしくお願い致します。

尚、小林昌信監事と安田央理事は退任されました。

同期会・クラス会報告

米寿を祝う同期会

昭和16年梅組卒 若狭 泰子

私達昭和16年に卒業、今年で大半の人が88歳米寿を迎えます。

平成28年5月13日に4クラス合同の同期会を大井阪急ホテル3階、レストラン「クルール」で開催しました。

男子7名女子10名の出席で昔話に花を咲かせました。兵庫県加古川市から、又、大阪府吹田市から出席された方もあり、年齢を重ねてもお元気で参加してくださり大きな励みでした。



又、ご主人の看病で急に病院に行くことになり、前日に欠席の連絡をいただいた方、残念なこともあり

今回は、米寿を祝う会でしたので、全員に連絡を致しました。ご家族から計報の知らせをいただいた方、足腰の痛みで欠席された方など、ひとり一人の消息が分かりホッとしました。

二年後は90歳、卒寿を迎えます。それまで元気で同期会ができれば：と思つて居ります。

同期会実施報告

昭和26年梅組卒 平出 武

平成28年11月19日(土)、横浜スカイビル29階「梅の花」に於いて、昭和26年3月卒業の同期会を開催いたしました。

この年の卒業生は120名いたが、現在連絡のつく者は60名あまりである。当日は、出席予定者で忘れていた者が一人居たものの、電話で呼び出され、24人が元気に顔を合わせた。同期会は前年の140周年同窓会の時を含めて、平成元年から16回行っているが、それでも、卒業以来、初めて会う人も居て、皆、感慨深く昔を語り合つた。元自衛隊幹部、元大学教授、現在日弁連の綱紀審査委員など、多彩な顔ぶれが揃つた。



武井先生が担任だったので、息子さんが現在、港区の区長であること等が話題となった。最後は勇ましく、元自衛隊の大佐の音頭で三・七拍子の拍手をして終つた。

昭和28年卒同期会

昭和28年梅組卒 立花 記久丸

去る平成28年7月1日、大井第一小学校昭和28年卒業の同期会を「木曾路」大森店で昼食会として行つた。

明けやらぬ梅雨空の下、連日の猛暑にも負けず28名の方々とお逢いすることが出来ました。加齢の割には明るく元気に輝いておりました事は、何よりと感じました。唯、残念なことに、前回平成25年からわずか3年足らずでしたが、6名の方々が他界しておられました事を思いますに、この辺りの年回りは何かと注意深く日々を過ごさねばとも感じました。



それにつけても楽しい一時でありました故に再会を胸に別れを惜しみつつ炎天下の中をそれぞれ帰路につきましましたことを御報告申し上げます。

30年ぶりのクラス会

昭和36年雪組卒 飯塚 佐保子(旧姓野副)

今日は30年ぶりのクラス会を大井町駅アトレ内で開催することができました。30年ぶりですので連絡先が不明の方々が多く、また体調がすぐれないので出席できない方もいらつしやう、結局7名の参加でしたが、90歳になられてもますますお元気な守田瑠璃子先生を囲んで、楽しいひとときを過ごすことができました。遠足や林間学校の話、給食の話、二



部授業だった頃の話、いろいろなことをなつかしく思い出すことができました。ちょうど「同窓生の集い」が開かれていてというところで学校にも伺い、在校時の写真や昔の大井町の風景を写真を見れたのもうれいことでした。その後鹿嶋神社の祭礼に行つたあと再会を約して解散しました。先生のお元気なうちに次回を計画するつもりであります。

昭和54年松組卒クラス会実施報告

昭和54年松組卒 石井 崇

平成28年11月20日(日)グランパークホテルパネックス東京で卒業以来37年ぶりのクラス会を開催いたしました。当日は担任だった白田先生にもお越し頂き、皆で旧交を温めました。



先生を含めて20名の参加で大変賑やかな会となりました。これからもクラス会を定期的に実施して行きたいと思ひます。ご参加頂いたクラスの皆、ありがとうございました！

第11回総会のお知らせ

日時 平成29年5月27日(土) 14時
場所 大井第一小学校
1、事業報告及び収支決算の承認
2、事業計画及び収支予算の承認
3、役員改選の承認
4、その他、本会の運営上、特に重要な事項
*出席される方は、同封の払込取扱票の出席欄に○をつけてください。

項目	金額	項目	金額
I 前期繰越収支差額	4,575,321	事業費計	1,405,148
II 通常会計の部		会議費(管)	7,100
(収入)		通信運搬費(管)	0
会費収入	1,212,710	事務用品代	16,328
入会金収入	37,500	什器備品代	271,728
記念誌等販売収入	0	振替手数料	74,462
雑収入	467	管理費雑費	0
収入計	1,250,677	管理費計	369,618
(支出)		支出計	1,774,766
秋季大会費	0	①通常会計収支差額	-524,089
会費出版費	468,638	III 特別会計の部	
名簿管理費	6,824	特別会計戻入金収入	1,369,922
広報費(事)	74,989	特別会計換入金支出	2,700,000
会議費(事)	8,600	②特別会計収支差額	-1,330,078
記録費(事)	10,000	IV 当期収支差額	-1,854,167
クラス会補助金(事)	70,000	(①+②)	
通信運搬費(事)	706,097	V 次期繰越収支差額	2,721,154
事業費雑費	60,000	(I + ① + ②)	

開校140周年記念同窓会収支報告

大変遅くなりましたが、左表のよう
に報告いたします。皆様には、沢
山のご寄付・ご協力をいただきました
で、誠に、有難うございました。

項目	金額	備考
(収入の部)		
寄付金収入	2,108,844	払込612件(平均3,486円)+25万円、20万円、5万円各1名 S40年卒同期会120,844円
記念同窓会会費収入	1,570,000	314名分
本会計繰入金収入	2,700,000	
雑収入	463	郵便貯金受取利息
① 収入計	6,379,307	
(支出の部)		
会議費	25,980	
広報費	100,800	記念同窓会開催広告掲載(しながわ区報2回掲載分)
記念同窓会費用	1,366,751	
うち、会場費	82,400	きゅりあん7Fイベントホール使用料
展示品製作費	73,400	会場内展示写真パネル製作費
会食委託費	1,200,000	料理200名分
受付用具代	972	
開催雑費	9,979	
母校記念品代	2,533,572	
うち、写真集制作費	1,165,160	1,300冊作成。(配布先:記念同窓会出席者、在校生他)
DVD制作費	1,113,453	500枚作成。(配布先:大井第一小学校、記念同窓会出席者 他)
その他寄贈品代	254,959	
印刷製本費	148,764	テント1基
通信運搬費	729,349	記念事業実施挨拶状、記念同窓会開催告知ポスター作成
事務用品代	29,777	記念事業実施挨拶状送付費用
振替手数料	70,720	
運営雑費	3,672	寄付金、記念同窓会会費の払込手数料
本会計戻入支出	1,369,922	送金手数料
② 支出計	6,379,307	
③ 当期収支差額(①-②)	0	
④ 次期繰越収支差額	0	

編集後記

毎号会報をお楽しみ
いただきたいと思います。有
難うございます。
今までの4月発行
では、総会・収支報告・
教職員の異動等一年
遅れの記事となって
しまい、申し訳なく
思っておりました。
タイムラグをなくそ
うと次号より7月下
旬の発行となります。
今後皆様のご期待
に添えるように努力
してまいりますので
よろしく願います。
いたします。

編集委員

昭和14年卒	津田 照通
昭和30年卒	木村 親光(イラスト)
昭和34年卒	森 秀雄
昭和35年卒	平林 幹夫
昭和35年卒	杉本 晴重
昭和39年卒	住友 光男
昭和42年卒	井上 幸子



同窓会事務局

同窓会ホームページをご覧ください。
URL <http://oildots.net>

大野 正恒 (名簿担当)
TEL・FAX 03-3772-5527
E-mail wpjny726@yahoo.co.jp
住友 光男
TEL 090-5750-2602
E-mail m.sumitomo@poplar.ocn.ne.jp
平林 幹夫 (ホームページ担当)
TEL 03-3772-9031
E-mail mikio-hira@yk2.so-net.ne.jp
井上 幸子
TEL・FAX 03-3775-6596
E-mail yama_sachiko_i_0209@festa.ocn.ne.jp

品川区立大井第一小学校
〒140-0014 東京都品川区大井6-1-32
TEL 03-3771-5240

開校140周年記念写真集DVD
年代の表記にコメントを頂き、あり
がとうございました。多少残数があ
りますのでご希望の方は受付ます。

